

(様式1)

### 令和2年度 学校評価結果報告書(特別支援学校用)

(1) 学校教育目標	根気強く実践し、心豊かに、たくましく生き抜く人間を育成する。 1 進んで学習に取り組む子 2 仲良く助け合う子 3 進んで体を鍛える子
(2) 現状と課題	(現状)在籍児童生徒数は昨年度と同じ、教職員数は昨年度と比較すると5名増である。特別支援学校としては小規模校ではあるが、地域における特別支援教育のセンター的機能を果たしながら視覚障害を主とした教育の充実に取り組んでいる。経験豊富な教員を中心に、視覚障害教育の専門性を継承していくことが課題となっている。 (課題)①授業の充実(分かる授業、基礎・基本の定着) ②職員の指導力・専門性(教科指導及び視覚障害教育)の向上 ③安全・安心な教育的環境づくり(いじめの未然防止、安全な給食の実施と食育推進、新型コロナウイルス等の感染症対策)④地域の要請に応え貢献する学校づくり(地域の中心としての教育相談活動の充実、研修等地域支援の推進)
(3) 重点目標	1 授業の充実 2 指導力・専門性の向上 3 安全・安心な教育的環境づくり 4 地域の要請に応え貢献する学校づくり
(4) 結果の公表	保護者、教職員には結果を書面で配布し保護者集会、職員会議で説明した。その他、学校のホームページで公表の予定。

学校整理番号	特2
学校名	青森県立八戸盲学校
対象障害種別	視覚
自己評価実施日	令和2年12月11日(金)
学校関係者評価実施日	令和3年2月5日(金)

(9) -イ 学校関係者評価委員会の構成
学校評議員4名、PTA会長、後援会会長 校長、教頭、事務長、教務主任 合計10名

自 己 評 価					学校関係者評価	
番号	(5) 評価項目	(6) 具体的方策	(7) 具体的方策による目標の達成状況	(8) 目標の達成度	(9) -ア 学校関係者からの意見・要望・評価等	(10) 次年度への課題と改善策
1	授業の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・居住地校交流を含む交流及び共同学習を推進し、集団学習機会を保障する。</li> <li>・総合的な学習の時間をはじめとした授業の話し合い・発表活動場面を通し、表現力の向上を図る。</li> <li>・拡大読書器、タブレット端末、プレゼンテーションソフト等を活用して児童生徒個々の見え方に合わせた教科指導を充実させ、基礎的・基本的な学習内容の定着を図る。</li> <li>・各教科、総合的な学習の時間、特別活動及び自立活動のそれぞれの特質に応じて、生徒の発達段階を考慮して道徳教育を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・交流及び共同学習については、達成度Aと自己評価が高かった。新型コロナウイルス感染予防の観点から昨年度より交流回数が減ったケースもあるが、7名の児童生徒が居住地校交流を実施した。近隣の高校との学校間交流も含め、感染症対策をとりながら交流できた。</li> <li>・表現力の向上については、教員、保護者ともに達成度Aの評価ではあるが、教員の評価が他の項目と比較するとやや低かった。</li> <li>・拡大読書器やタブレット端末等、学習場面に応じて効果的に活用することで、学習内容の理解につながった。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・道徳の指導については、指導内容を盛り込んだ体験活動を充実させ、日常に生かす工夫が必要である。</li> <li>・学校行事等が計画通りに行かない中、感染症対策をして活動できていたのが良いと感じた。</li> <li>・休み時間を確保するため、時間内で授業が終わることは必要である。</li> <li>・学校が楽しいと言っている子供が多いのが嬉しく感じるが、学校で行っている授業等が保護者に伝わるようにしてほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・表現力の向上については、合同授業や行事が中止になり、発表の機会が少なくなったことや、他の職員が各教科の中で表現力の向上を目指す指導をどのように進めているのか十分知らないことが関係すると思われる。今後も話し合い活動や、発表活動を意図的に設定、周知し、職員が参観して表現力の向上に努めたい。</li> <li>・道徳教育の充実については、保護者の評価は高かったが、教員の自己評価がやや低かった。今後は、道徳科の指導内容を盛り込んだ体験活動を充実させ、日常生活に生かすことができるように工夫していく。</li> </ul>
2	指導力・専門性の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研究授業、事例検討会を行い、PDCAサイクルに基づいた授業改善に努める。</li> <li>・新任者を対象とした校内研修を実施するとともに、青特研・北東北3県のネットワーク等、校外研修に積極的に参加することで視覚障害教育の専門性向上に努める。</li> <li>・発達課題や指導方法についての共通理解に基づき指導力を高める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研究授業、事例検討会等を実施し、実践的指導力の向上に繋がった。また、生徒の見え方、発達課題や指導方法について学部で共通理解を図り、授業改善に役立てた。</li> <li>・青森県特別支援教育研究会視覚障害教育部会研究大会が県立盲学校で開かれ、多くの教員が参加した。視覚障害教育の在り方を主軸にした実り多い研究大会となった。特別支援学校における専門性向上研修会では、外部講師を活用し、視覚障害の基礎的知識について全職員で研修できた。北東北三県ネットワークには、寄宿舎指導員が参加し、専門性の向上を目指すことができた。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒の進路の幅が盲学校高等部以外に広がってきているように感じる。子供の指導等について進路先しっかりと引き継ぐようにお願いしたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ICTの活用については、保護者の平均値がやや低かった。次年度は児童生徒の実態に合わせた活用の仕方を検討するとともに、ICTを取り入れた授業を保護者に参観していただいたり、学校だよりに掲載するなどして情報発信する。</li> </ul>

3	安全・安心な教育的環境づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>定期的なアンケートや個別面談、学習会を通していじめの未然防止に努め、気になる記述や様子が見られた際には組織的に対応する。</li> <li>新型コロナウイルス等感染症防止対策を徹底するとともに、児童生徒自身の感染予防に関する意識の向上に努める。</li> <li>設備・備品を効果的に活用するとともに適正に管理する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>いじめの未然防止と組織的な対応に関する項目は、教員・保護者ともに達成度Aと高い評価だった。ハートフルリーダーを中心に実施したいじめ防止学習会は感染症対策から小グループ毎に実施し、いじめの早期発見、児童生徒が安全安心に生活できるよう努めた。</li> <li>感染症対策では、毎日職員が児童生徒下校後に教室や使った物の消毒を行い、給食や行事等も密にならないよう配慮しながら実施した。また、新しい生活様式における熱中症対策や手洗い・消毒の仕方を保健だよりに掲載し、児童生徒の感染予防に関する意識の向上を図った。</li> <li>教材のデータベース化を推進するとともに新規購入した教材教具は写真とともに職員に周知し、効果的に活用できるように工夫した。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>感染症対策については、冷静な対応が必要である。新型コロナウイルス感染によるパッシングが起こらなければようにしたい。</li> <li>柏崎地区では安全安心パトロールを行っているので、何かあれば協力したいと考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>いじめ防止学習会については、実施時期を5月連休前にし、作成したメッセージを定期的に取り返し、日頃の言動を振り返る活動を設定する。</li> <li>教材のデータベース化を引き続き推進し、教材教具が効果的に活用できるようにする。</li> </ul>
4	地域の要請に応え貢献する学校づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>八戸盲・聾学校協働相談支援センターでの教育相談活動とサテライト教室の運営、県立盲学校や視覚障害者情報センターと連携して視覚障害者を支援し、地域に貢献する。</li> <li>ゲストティーチャーの派遣、愛・Eyeライブラリー in 八戸の開催を通して理解啓発活動を充実させる。</li> <li>災害時に備え、地域及び市と連携して合同避難訓練を実施する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校経営の重点である地域の要請に応え貢献する学校づくりは、達成度Aと高い評価であった。小学校へのゲストティーチャー、小学校、専門学校に講師として出向いての研修及び講義、地域の小学校の要請に応えた学校見学など視覚障害の理解啓発活動を積極的に行った。</li> <li>三戸町でサテライト教室を新たに実施した。継続した教育相談に繋がったケースが多く、三戸郡のニーズに応える幅が広がったといえる。</li> <li>地域住民との合同避難訓練の際には市の防災担当が来校し、住民に情報を提供していただいた。また、質疑応答では活発に意見交換された。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>今年度は新型コロナウイルス感染症対策で中止となったが、柏崎公民館で毎年作品展を実施している。次年度作品募集の際には協力してほしい。</li> <li>福祉施設でも新型コロナウイルス感染症対策に気を遣っている。放課後等デイサービスの場合、濃厚接触者が出た場合の情報提供の仕方が家庭に任されているので、施設が対応できるよう学校から保護者に対し情報提供するように伝えてほしい。</li> <li>様々な行事が中止になる中、青年学級のスポーツ体験、合唱教室を開催してもらっていることに感謝している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>三戸郡の支援を強化するため、サテライト教室の回数を増やして計画する。</li> </ul>
(11) 総括		<ul style="list-style-type: none"> <li>評価については、保護者が到達度A平均3.61と学校教育に高い評価をしている。また、教員も到達度A平均3.57と高い評価であり、職員の自己評価では、地域の要請に応え貢献する学校づくり、保護者の評価では安全・安心な学校づくりに関する項目が高い傾向にあった。課題となった項目や意見・要望については、各学部・分掌等で検討し、具体的な改善策が出された。全職員で共通理解を図り、改善に努めていく。</li> <li>児童生徒のアンケートにおいて、先生は自分たちの話を聞いてくれる、学校が楽しい、学校が好きだの項目が高かったことから、学校生活が充実していると感じていることがうかがえる。これからも児童生徒、保護者との信頼を築きながら、全職員力を合わせて視覚障害教育に力を注いでいきたい。</li> </ul>				